

ITシステム開発演習II 初回ガイダンス

■授業概要

ITシステム開発演習IIでは、データの分析を行い世の中の課題を見出す企画力向上を目指します。
企業連携として期末に企業の方をお招きしてプレゼンテーションの実施します。
また、アウトプットの間として+E展での展示およびECCEXPO入賞を目指す。

■授業教室・担当

クラス	教室
IE2A	3201教室
IE2B/SK2B	3202教室
SK2A	3203教室

曜日	担当
火曜 1,2限	良原先生、村上先生、坂倉先生
木曜 1,2限	良原先生、有川先生、田中(信)先生

※パーティションを開けて合同で実施

■制作テーマ

世の中を分析して課題を見つける

前期は「ITソリューションを目指して」のテーマで、自分たちで課題解決（ソリューション）を企画しました。後期では生活定点というサイトから世の中のデータを分析してITの力で解決でき課題を見つけてシステムの企画・制作を行います。

- ・生活定点とは <https://seikatsusoken.jp/teiten/>

1992年から隔年で実施している生活者の意識調査です。同じ質問を繰り返し投げ掛け、その回答の変化を定点観測しています。日頃の感情、生活行動や消費態度、社会観など、多角的な質問項目から、生活者の意識と欲求の推移を分析することを目的としています。

■目標

BacklogやGitを利用したプロジェクト管理の継続

生活定点を分析して課題を見出しソリューションの企画・制作

企業に向けた発表資料の作成、ECCEXPO入賞

■チーム編成について

メンバーは5名をベースとする。

メンバーは担当教員の指示に従って編成を行うものとする。

前期と同じメンバーにならないように。 他クラスと混合チームでもOK

■チームのルール

チームでのトラブルを防ぐためにも以下のルールを守りましょう

1. チーム内で責任者を決めること

2. 毎月の目標を決めること

その月にどこまで作業を実施するのかチーム内で話し合い、月の目標をたてること

3. 週の初めの1コマ目に進捗の共有時間を作ること

立てたスケジュールに遅れがあるか、誰が何に困っているかを週に1度初めの時間に

必ず話し合いの場を設けてスケジュールの調整や週目標を確認すること

4. 原則Gitを使い、コードの管理を行うこと

XXXの機能実装やXXXの途中など、内容が第三者にわかるようにコミットのコメントを入れましょう

5. Gitのマージを行う担当を決めること

マージの際にトラブルが起きがちです。誰でもマージをするのではなく、担当を明確にしておくこと

6. チームでフォローすること

就活や病欠など、イレギュラーなことがあった場合、特定の人しかわからない、データを持っていないとならないようにコミュニケーションを取ること、他の人がフォロー出来るようにすること。チームが全員で良いものを作る意識と方向を備えて、トラブルを回避しながら制作を進めましょう。相談事はいつでも担当の先生へ相談を

■作品展示について

・+E展

作品展示の場として、IT企業や卒業生など幅広く来ていただく+E展にて展示を行う。

・ECCEXPO

+E展で優秀な作品を展示した学生のみが選出され、作品を出展できる展示イベント。

※双方とも詳細は決まり次第別途連絡をする。

■採点基準

チーム評価（物・プレゼン） + 個人評価 = 授業評価

チーム評価は、プレゼン内容と作品の完成度から算出を行います。

個人評価は、チームで各メンバーの相互評価を行い、それを元に評価を行います。

■提出物

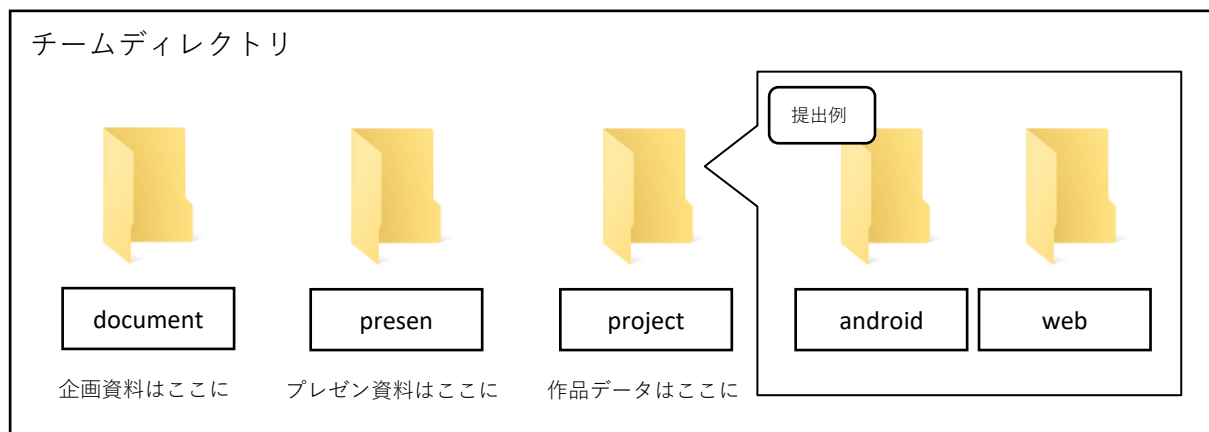
各チーム共通して下記ファイルは提出すること

1. アイデアまとめシート 形式：PDFファイル
2. スケジュール 形式：WBSをPDFファイル変換して提出
3. プレゼン資料 形式：自由
4. 開発経歴書 形式：Excelファイル（前期作成分に追記）
5. 作品データ

●データ提出場所

[¥¥sv23¥提出23¥IT¥チーム制作¥ITシステム開発演習2¥クラス¥チームディレクトリ](#)

●提出物ディレクトリ



●注意点

- ・提出データは、他PC等で再現可能な状態にしておくこと

Android、サーバサイド、データベースなど、他PCで作業データが確認できるように再現できる状態にしておくこと

特にデータベースの構築情報と再現データは必ず提出し、特定の人しか操作や再現が出来ない状態を避ける

- ・著作権には注意すること

画像データや、その他ファイル類全てにおいて著作権侵害とならないよう、各チームで注意を払うこと。

■その他

今年度は社会情勢により予定が変更される可能性があります。

現有の学校資産（ハードやソフト等）の範囲で開発をお願いします。

プロジェクト管理ツールBacklog（バックログ）やGitを利用します。

企業連携で授業内で発表を行う際は企業をお招きする予定ですが

状況により変更になる場合があります。